
駄々

コオ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

駄々

【Nコード】

N6824B

【作者名】

コオ

【あらすじ】

詩です。独白のようなものです。

もういやだと全てを投げ出してしまえたらどんなにかいいだろう。
もういやだ。

いやなことだけ避けて通れるはずがないのに思う。やることから逃
れられないことならば、楽しいと思えるようにすべきだろう。

権利が大事なのだ。今の立場を守って、逃げ出すことは許されなか
った。

泣き叫ぶことが許されているのなら、泣き叫んでしまいたかったけ
れど、行つ前から無意味だと分かっている行為を起こそうと思えな
かった。

だから、結局なにもできない。

目の前にあるのがやりたくないことだから、やろうとも思えないし、
やらずにいることも出来なくて、やらなくちゃなとうすばんやりと
考えるだけだ。

子供は自由だと結構簡単に言うけれど、そんなことはないと思う。
やりたくてもできないことはとても多くて。幼さを理由に忘れるこ
とも出来なくて、後悔を覚えているものだ。大人は見下す言動を平
気ですって、どれだけ傷ついたか理解しないものだ。

それは大人だってそうだろう。こんなに傷ついたんだって、傷をさ
らけだして見せることはできないのだから。

足りないものは怒りだ。行動の原動力だ。

ずぶずぶと沈んでいつて這い上がることができないから、耳を塞い
で目を閉じて、肺の中まで泥でいっぱいにして、叫べもしない。

泣く、涙は透明でも心の奥底まで汚らわしくて。
だってどこにも救いがない。

誰も助けてくれない。

叫んでみたところで、それはただの無責任な行動だろう。

言葉は出ない。言葉は出ない。

喉につまってしまうから。肺に空気を送れないから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6824b/>

駄々

2010年10月10日14時57分発行